

令和7年度 学校教育の努力点とその推進

I 研究主題

夢中になって学び続ける児童の育成

II 研究のねらい

昨年度まで取り組んでいた「学びに向かう児童の育成」というテーマのもと、児童は課題に対して自分なりの選択を行い、必要に応じて周りに関わり合いながら課題解決に向かうことができるようになった。「協働的な学び」を目指して様々な手立てを講じた結果といえる。さらに、自分が選択した課題解決方法を振り返り、それが最適だったのかどうか考える児童の姿もあった。しかし、自ら課題を見付けたり、解決方法を考えたりするまでには至らず、学習サイクルを意識できていないことで、学びの意欲が減退してしまう様子が見られることもあった。

そこで、令和7年度は、名古屋市が示した「ナゴヤ学びのコンパス」と「キャリア教育」を踏まえ、児童が学習サイクルを意識し夢中になって学び続けることができるようにしたいと考える。

ナゴヤ学びのコンパスの概要は以下の通りである。

【実現したい市民の姿】 自由な市民として互いに認め合い、共に社会を創造する

【目指したい子どもの姿】 ゆるやかな協働性の中で自律して学び続ける

【重視したい学びの姿】

★夢中で探究する ★自分に合ったペースや方法で学ぶ

★多様な人と学び合う

【どの学校でも大人が大切にしたいこと】

子どもは有能な学び手であると理解し、子どもの学びに伴走する

★一人一人の思いや願いを尊重する ★子どもと対話する

★子どもの自分なりのチャレンジを大事にする

キャリア教育の要点は以下の通りである。

キャリア教育全体目標	「未来を見つめて 自分の通る道をつくろう」		
育成すべき基礎的・汎用的能力（★が重点）			
人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
話し合う・協力する	チャレンジする・自分を知る	★見通す・見付ける	選ぶ・振り返る・想像する
重点目標 低学年	めあてに向かって、「まず・つぎに・さいごに」の流れを意識する。		
中学年	計画づくりの必要性に気付き、作業の手順が分かる。 みんなで話し合い、よりよい解決方法を見いだす。		
高学年	自分に必要な力を見つめて課題を設定し、自分なりの方法で課題を解決する。		

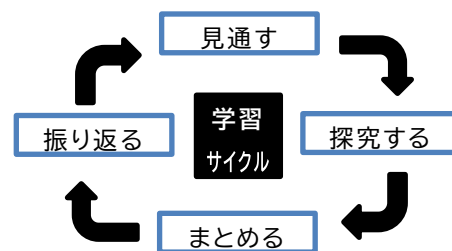
昨年度までの成果と「学びのコンパス」「キャリア教育」を組み合わせ、以下のような児童の姿を目指していきたい。

Ⅲ 研究の内容

(1) 本研究で目指す児童像

自分なりの課題を見付け、自分なりの方法で、自分なりの答えに向かって夢中になって学び続ける児童。

夢中になって学び続ける＝学習サイクルの意識



【具体的な児童像】

課題に対して、ゴールを明確にして、そこに至るまでの手段や方法を計画することができる児童

(2) 実践方法

目指す児童像の実現のために、授業実践と日常実践では下記の内容を中心に取り組む。

【授業実践】

① 活動カードの提示

「見通す」「話し合う」などのカードを黒板に提示することで、今何を学んでいるかを視覚化して、学習サイクルを意識させる。

② 学習計画表の活用

見通しをもつための学習計画表を活用することで、課題に対してのゴールやそこに行くまでのプロセスを明確にする。

【日常実践】（継続）

「話そう」「遊ぼう」「声かけよう」いつでも聞き合うことができる居場所づくりの具体的な取り組み

【具体例】

- ・ 共感的に聞きながら子どもと話す。
- ・ 子どもと遊んだり、子ども同士を遊ばせたりする。
- ・ 互いを気に掛け、優しく声を掛ける習慣をつける。

【事前・事後のアンケート調査】

4月・1月に全児童対象のアンケート調査を行い、児童の実態や目標の到達度をつかみ、次年度の実践に生かす。

(3) 研究の進め方

- 授業実践の教科は自由。
- 各学年で同じ内容の実践を行うことができる。
- 事後検討会は各学年で一回必ず行う。必要に応じて事前検討会を行ってもよい。
- 授業公開は、各学年どちらかの学級のみでもよい。
- 最終報告書のまとめは各学年で1枚にまとめる。
- 授業実践は2学期に行う。
- 全体授業を2学期に行い、全員で授業を検討する。

IV 研究推進の組織



※ 上記◎：各部会を取りまとめる部会長

※ 努力点推進委員会：部会長、努力点研究主任、主幹教諭で構成

V 今後の予定

- | | |
|----------------|--------------------------|
| ○ 4 / 9 (水) | 努力点推進委員会 |
| | ・実践内容についての具体的な進め方についての検討 |
| | ・代表授業者の検討 |
| ○ 4 / 14 (月) | 努力点全体会 |
| ○ ~ 4 / 30 (水) | 実態把握（アンケート調査）、実践単元決定 |
| ○ 5月～ | 日常実践開始 |
| ○ 9月 | 全体授業事前検討会 |
| ○ 9月 | 全体授業・事後検討会 |
| ○ 10 / 9 (木) | 中間検討会 |
| ○ 1 / 30 (金) | 公開授業終了、実態把握（アンケート調査） |
| ○ 2 / 4 (水) | 最終報告書提出締切 |
| ○ 2 / 12 (木) | 努力点最終報告会 |
| ○ 3 / 5 (木) | 努力点推進委員会（次年度へ向けて） |

R 7 年度 努力点アンケート調査

なまえ
名前 ()

① 「こうするとできそうかな」と自分が決めたゴールに向かって学^{がく}習^{しゅう}に取^とり組^くめ
ていますか。

取^とり組^くめている

ときどき取^とり組^くめている

あまり取^とり組^くめていない

取^とり組^くめていない

② クラスのみんなは、あなたの話^{はなし}を聞^きいてくれますか。

聞^きいてくれる

ときどき聞^きいてくれる

あまり聞^きいてくれない

聞^きいてくれない

R 7 年度 努力点アンケート調査

なまえ
名前 ()

① 「こうするとできそうかな」と自分が決めたゴールに向かって学^{がく}習^{しゅう}に取^とり組^くめ
ていますか。

取^とり組^くめている

ときどき取^とり組^くめている

あまり取^とり組^くめていない

取^とり組^くめていない

② クラスのみんなは、あなたの話^{はなし}を聞^きいてくれますか。

聞^きいてくれる

ときどき聞^きいてくれる

あまり聞^きいてくれない

聞^きいてくれない